



# 春間近か 枝うち最盛期

冷たい北風を受け、今、**田代**尾崎、三木野の山間ではスキヤヒノキの枝うち作業が最盛期に入り、高さ十メートルに成長した木の上での厳しい作業が続いている。

樹木の活動が停止している今が枝うちにも最もよく、民間から委託された森林組合の作業班がこの作業に当たっている。メンバーは六十歳以上のお年寄りがほ

とんど、しかし仕事は早くも頼もしい。一本の命綱をたよりに両足に付けた木登り機で巧みに木に登り、ナタで枝を打ちおろしきれいに仕上げている。

「働けるうちに働かないと」と元気に語るお年寄りたち。この作業三月中旬まで続き、枝うちが終るころ山には春が訪れる。



広報 **あくな**

**2**月号

第 4 2 1 号

住民基本台帳人口と世帯数

(2月1日 現在)

人口	30,284 (+27)
男	14,143 (+9)
女	16,141 (+18)
世帯数	9,584 (+5)
( )	内は前月比

# 鶴見地区の都市計画順調

## 幹線道路もほぼ完成

### 57年度一千坪の児童公園も設置

鶴見地区十三ヶを区画整理して都市的なまちをつくらうと、総事業費約八億七千万円で昭和五十二年から始まった都市計画事業は、五年目に入り幹線街路や区画街路の建設も順調に進み、今後は児童公園の新設や街路への植栽などが予定されており、鶴見地区一帯は近代的なまちとして生まれ変わることになります。

すでに、街路は農業改良普及所 港線を結ぶ延長三百二十坪、幅員前から市役所を通り、県道阿久根

港線を結ぶ延長三百二十坪、幅員十六坪の港線が完成。消防署前

から鶴見川に沿って東側に延びる道路も新しくできあがり、これに伴って鶴見川には一号から五号まで五つの橋も架けられました。

これらの幹線道路を結んで東西南北に格子型に幅四坪から六坪の区画路延長一千八百坪も一部未

完成地域を除き新設されアスファルトの立派な道路に改良されました。地区の西側を流れる大

国道三号線と結ぶ大丸遠見ヶ岡線も急ピッチで工事が進む



現在の区画整理事業の状況は、国道三号から旧



鶴見川の改修も進む

市役所跡地の南側を通り、市役所北側にぬける延長四百八十坪の大丸遠見ヶ岡、港線が工事中で三月末までには完成予定で、このほか市役所前の道路にイヌマキ、サルスベリなどを植え緑地帯を設ける工事も近日中に始まります。

五十七年度の計画としては、三千二百平方坪(一千坪)の児童公園と三百平方坪(百五十坪)の幼児公園を地区内に設置することにしており、未完成の幹線街路の延長工事を実施します。

引きつづき、今年度から新たに遠見ヶ岡へ延びる大丸遠見ヶ岡線も事業が実施されます。

六ヶ年間に八億七千万円を費した鶴見地区の区画整理事業は着々と進んでおり、この三月には保健センター、働く婦人の家も完成予定で、五十七年度事業の完了時には区画整理された近代的なまちが誕生します。

## 誕生おめでとう

出生児 保護者 部落名

平岡 寿雄	正	(寺山)
川辺 瞳	次雄	(牧内)
尻無濱 達夫	徳男	(尻無下)
倉田 応子	利行	(段)
中池 幸裕	真人	(浜)
濱田 宗騎	宗雄	(大丸)
西田 真	恵	(高之口)
中野 千祥	敏	(佐淳)
下園 正喜	博光	(的場)
砂畑 景子	秀和	(新町)
中原 誠治	良昭	(高松)
大田 舞	和孝	(波留)
花田由香里	泉	(仲仁田)
渡辺 大輔	幸一	(新町)
馬見新孝一	昌信	(河)
小牟田真也	貞	(新町)
鶴岡 力	安美	(尻無下)
白肌 政治	政明	(弓木野)
中園美希子	和之	(横手)
西田 勇樹	勇	(高之口)
春田 薫也	幸一	(大林)
寺地久美子	茂	(尻無中)
大庵 聡子	貞夫	(高之口)
高橋 京督	健三	(大丸)
松永 将士	学	(河)
下園 麻耶	栄二	(波留)
馬見新佑一	昌二	(飛松)
永田 和恵	耕造	(永用上)
福留 心平	心吾	(黒之浜)
大迫 伸也	義一	(上原)

臨本地区の漁業の中心地黒之浜に、昭和五十五年から二カ年計画で建設が進められていた漁村センターがこのほど完成。二月八日川畑市長や地元民多数が出席して落成式が行われ、新しいセンターの完成を祝いました。



完成した漁村センター

## 黒之浜の漁村センター完成

総事業費1億4千万円

臨本地区漁業の  
拠点施設に

漁村センターは、地域沿岸漁業構造改善事業の一環として建設していたもので、総事業費約一億四千万円。

一階には、旧組合事務所の十倍の広さをもつ荷さばき場や冷水室、冷凍室、それに漁民控室、入札室など、二階には組合事務所、ステージ付のホールとなっています。

落成式には関係者百五十人が出席。川畑市長など来賓が、「この施設をどしどし活用いただき、漁業所得向上に役立ててください」と完成を祝いました。

黒之浜地区は巻き網漁や磯立て網漁などの盛んな所で、元の組合事務所は最近の水揚量の増加に伴って手狭になり、不便をかこっていました。

新しい漁村センターは、地区の漁業振興に大いに寄与するものとして期待されます。

## B&G財団 海洋センター完成間近か

三月末には市へ引渡し

総合グラウンド東側に昨年の十月から建設中のB&G財団（笹川良一会長の海洋センター（体育館・プール）は、この三月の完成を前に急ピッチで工事が進んでいます。すでに、施設の概要について



▶ 体育館



▶ プール

## 春畑に十戸、黒之浜に四戸

### 市営住宅を建設

市では、年次的に住宅を建設して、住宅難の解消に努めています。五十六年度も市内の春畑と黒

之浜の二カ所に住宅を建設することにし、すでに昨年十二月から工事に着手しています。

春畑に建設される住宅は十戸で、壁式コンクリート造り二階建て、一階は台所（六帖）、六帖一間、浴室、二階は六帖一間と四・五帖となっており延約十九坪で総工事費六千四百円。

黒之浜には四戸建てられ、造り

は春畑と同じで二階建て一階は六帖と台所（四・五帖）浴室、二階は六帖一間となっており工事費二千五百円。三月末には完成の予定です。

### 弓木野分団に積込車

市内の弓木野分団に最新型の積込車が配車され、このほど団員らに参加して交付式が行われました。積込車は一、積、二千ccで百三十二万円、「弓鷹号」と命名されました。初期消火に一層の威力を発揮するものとして期待されます。

# 食肉センターに格付員

## 県下公共施設で初

市内汚にある市営食肉センターに、県下の公共施設では初めての食肉格付員の常駐が決まり、すでに昨年の十二月から業務を開始しており、生産者、流通関係者から安心した食肉の取引ができると喜ばれています。



枝肉の格付をする常駐員

## 畜産振興に大きなプラス

これまで食肉センターにおける食肉の格付は、生産者、出荷者、流通関係業者間で直接取引が行われていました。

そこで、市では公正、中立な第三者機関による格付を行うことにより、生産者、出荷者、流通業者間の安定した取引を促し、あわせて食肉の需用拡大を図るために、

同協会から昨年の十二月格付員常駐の決定が聞き、十二月から格付員一人が常駐し格付の仕事に当たっています。

格付員の常駐による利点は①枝肉の重さ、外観、肉質が格付され

ることにより生産者は、その結果によって改善点がわかり畜産や飼料の選択などを工夫することにより経済性の高い肉畜生産ができる。

②全国共通の取引ができるので食肉取引の公正と円滑化を図ることができ、

③消費地市場への枝肉の搬入など、産地から消費地への食肉流通が円滑になる。

④公正、中立な第三機関により、肉畜の評価が明確化し生産者、出荷者、流通関係業者間の取引上の信頼関係ができる。

⑤政府が買入れる食肉として指定できるなど。

本市の食肉センターは、昭和十八年四月県下で九番目の簡易と畜場として竣工。三十二年には一般と畜場となり、年次的に処理場

浄化槽を増設、五十一年に食肉センターとして新たにスタート、五十三年度には約四億三千万円の工事をかけて施設を近代化しました。

現在、と殺解体処理能力一日豚換算七百頭、年間肉豚十二万頭、肉牛一千頭を処理、浄化槽処理能力一日一千立方メートルと大幅にアップし、北陸地区唯一の総合食肉センターとして飛躍的に発展しています。

この格付員の阿久根常駐は、本市の畜産振興に大いに寄与するばかりでなく生産者、消費者にとっても安心した食肉の売買ができることとして期待されています。

## 常時一千頭を飼育

### 三笠町 桐野に肥育豚センター設置

肥育豚の年間三千頭出荷をめざす、三笠町農協（平石正義組合長）の肥育豚センター起工式が一月十六日、桐野萩ノ追の建設現場で行われ、川畑市長、平石組合長、工事関係者ら四十人が出席。神事で工事の安全を祈願しました。

肥育センターは、三笠東部地区農業構造改善事業の一環として建設するもので、現在の甘夏園八千四百平方メートルを造成し、ここに豚舎

舎二棟、管理舎、堆肥舎、を建て常時一千頭、年間三千頭の肥育豚を飼育する計画で総事業費九千三百万円（国庫補助五〇％）三月末には完成の予定です。

計画では、管内の生産農家から仔豚を買い入れセンターで共同飼育し、長期平均払方式で農家所得を保障し安定した肥育豚の搬入を図ることになっています。

「ご福を  
お祈りします」

- 岩崎 武夫 79 (桐) 平
- 磯畑 小市 72 (新町) 敬治
- 牛之濱 武二 61 (牛之浜) スソノ
- 牛濱 ヨシ 82 (牛之浜) 清文
- 牛之濱 キヨ 87 (牛之浜) 竹下スズノ
- 倉津 数雄 73 (倉津) ハナエ
- 新町 愛之助 68 (車田) ワサ
- 黒崎 弘 49 (中村) キクエ
- 福田 源蔵 79 (佐野) ノブ
- 東 静馬 74 (田代下) トメ
- 鮫島 ムメノ 88 (段) 利雄
- 永原 エキエ 52 (田代中) 新吉
- 富田 友春 60 (永田上) シズ
- 松原 ハルキク 67 (藪野) 一
- 吉沢 春子 74 (大丸) 山下一男
- 法福 重治 81 (新町) イツノ
- 尾島 正之 87 (新町) 内山陽子
- 尾原 ハルノ 77 (尾原) 辰雄
- 竹原 オサダ 67 (八郷) 忠一
- 釜 新助 78 (瀬之下) キヨ
- 河北 太次郎 75 (桐之上) 信
- 濱崎 泉 70 (黒之浜) 百枝
- 淵上 留記 76 (黒之上) マツカメ
- 石原 勝夫 73 (大滝) フミ
- 寺下 武夫 68 (橋之西) スズ子
- 西郷 三郎 48 (橋之東) 繁子

献血はあなたの健康にも役立ちます

# 水のアーチに歓声

## 河南さんらを功労者として表彰

### 式初めとびきびき

新春恒例の消防出初め式が、一月六日市民会館広場で行われ、消防署をはじめ市内二十四の分団から消防自動車五台、積込車十八台、小型ポンプ二十二台、団員三百六十五人が参加しました。



一斉放水で冬空にアーチ

川畑市長、新戸助役らが各分団を視閲。揃いのハッピ姿で参加した河久根小学校消防クラブもきびきびした動作で市長の点検を受けました。

佐野分団など代表分団によるポンプ操法や消防警員のはふく救助操法も行われ、日頃の訓練を披露しました。

このあと大丸、駅前、新町のコースで市中行進に移り、見事な足取りで市民の拍手を受け、本町通りでは分列式が行われました。

引き続き高松川河畔で一斉放水があり、冬の晴れ間に描かれた水のアーチに見物の市民から歓声がわき上がっていました。

表彰者は次のとおりです（消防庁長官表彰だけ掲載）

- 消防庁長官表彰
  - 消防団員退職報償銀杯伝達者 河南忠誠 越田良平 松本雄作 山平義孝

## 短歌 阿久根短歌会

破気噴く礫に隣り感知れぬ青を湛  
なく眠るみどり子の顔  
へし湖ひとつ

河南 節子

勝目 悦子

集金の疲れあらはに憩ふまも無き  
夫暮の街に出でゆく

橋崎 サチ

岩礁に鶴は身じろがず相寄りて日  
は墜ちたれど去る気配なし

坂元 竜馬

注「正仮名遣」

折田 憲司 選

## 春の全国火災予防運動

二月二十八日から三月十三日まで

### 重点目標

- 身体不自由者等の焼死防止
- 家庭における防火対策の推進
- 旅館、病院、事業所等における火災発生時の安全対策の徹底
- 異状乾燥時、強風時の火災発生防止

### 救急車利用についてお答え

市外への輸送はできないんですか。

私は、市内の五十五歳の主婦です。最近胃を悪くし、週一回市外の病院で治療を受けています。

夜にときどき痛むこともあり心配です。いざの時、救急車にお頼いし、かかり付けの病院に輸送してもらおうかと考えていますが、聞くところ、救急車の市外輸送はできないとのこと、本当でしょうかおたずねします。

（市内の一主婦より）

質問

者が発生した場合に設けられているのが救急医療制度で、そのため救急車は常時待機し、これらに備えています。

ご質問の救急車の市外利用については、阿久根地区消防組合救急規程のなかに「救急車の出動区域は当該管轄内とする、しかし、必要と認めるときは区域外も出動できる」と定められています。原則として市外へはできませんが「市内の病院（医師）に収容し、医師の指示によって、市外転送を要する時は、できる」ということです。

お答え

原則はできませんが、医師の指示でできます。

突発的事故による大ケガ、または急病等、緊急に医療を要する患

今後救急車のご利用については主旨をよくご理解のうえご協力をお願いします。



▲冷たい海を泳ぐ若者

▼提灯片手に戸柱に泳ぎつく



▲無事奉納して帰る

# 泳ぐエビス引退

トピックス

祭りは一月十日、青年団、船着民ら多数が出席してにぎやかに行われ、大漁と海の安全を祈りました。  
しかし、この泳ぐエビスも今年限り、というのも、新しい恵比寿神社を大島新着場近くに建設したため泳いで奉納する必要がなくなったもので、伝統の泳ぐエビスが引退します。昔からの伝統が消えるというのはさびしい気がします。最後の泳ぐエビスを写真特集してみました。



▶フンドシ姿でエビスさまを運ぶ



▶「よいこん節」でエビスさんを歓待



▲最後の泳ぐエビスに参加した浜英洋青年団

## 本市が振動規制地域に

二月一日からすでに指定

本市がこの二月一日から振動規制法による規制地域に指定されました。

これは国が工場や事務所、建設工事などにもなって発生する振動について必要な規制を行うとともに住民の生活環境を守り、健康を保持するために規制するものです。

区域別では、二種区域(規制基準の高いところ)に遠見方岡の一部、市街地の浜、大丸の一部、湯地区の一部が指定され、このほか山手地区を除く市のほとんどが一種区域に指定されました。

今後は、この地域内に工場などを建てる場合等について、県への届け出の義務など規制がされます。詳しいことについては保険衛生課におたずねください。

## 教育モニター募集

国の文教施策について、国民から意見、要望を聞き、文教行政の参考とします。

○募集人員 全国で五百人

○期間 二カ年

詳しいことについては市教育委員会におたずねください。

# わたしたちの学校

シリーズ⑫

## 西目小学校

学級数 6  
児童数 210  
校長 當房嘉正



昨年発足した剣道スポーツ少年団  
腕もメキメキ上達



### 「元気で伸よし 花と緑の楽しい学校」

僕たちの西目小は、全校児童二百十人の学校です。今年度は創立百周年記念で、式典や祝賀会、記念碑の建設などがありました。一

一、紅ぞむる 上床の  
輝き燃ゆる陽は抱く  
さばかり高き人の世の  
空に光の教えあり  
たたえよたたえよ 西目校  
希望は躍る我等が胸に

#### 学校のあゆみ

- 明治15年 阿久根小学校西目分校として高ノ口に設立
- 20年 西目簡易小学校と改称
- 30年 飛松湖に校舎新築移転(高ノ口より10月5日)
- 33年 暴風雨のため校舎倒壊教室設置
- 43年 校舎落成(4月3日 元本校)
- 昭和7年 西目部落有原野 相地開墾12町9反
- 14年 高等科設置、校舎増築、サイレン設置
- 26年 60周年記念式、ピアノ購入、職員住宅二棟新設
- 29年 電鈴教室配線、PTA研究公開、市保健優良校
- 33年 理科教育環境整備、本館校舎増築(120坪)
- 35年 給食室落成、完全給食開始、80周年記念式
- 39年 市学校緑化優良校、国土美化表彰(国)
- 41年 子ども郵便局表彰(郵政大臣、県知事)
- 45年 屋内運動場落成並びに創立90周年記念式典(2月20日)
- 48年 花壇コンクール入選、水泳プール完成
- 51年 子ども郵便局大蔵大臣中央表彰、カラーテレビ全学級取り付け
- 53年 子ども郵便局 九州郵政局表彰を受ける
- 56年 創立百周年の年となる(校舎改築)

図書館には、故松庄右衛門さん

つばいの学校です。

なわとび大会など楽しいことがいっぱいあります。

児童会

とその子供さん方からいただいた本がいっぱい、皆がよく本を読んだり、辞書などを利用して、貯金委員会の活動も活発で、毎年というほど表彰を受けています。

今、校舎改築中で花壇が少ないですが、緑化運動で何回も表彰を受けているので、新校舎ができた後、又、花の美しい学校にしたいです。

五十五年度からは、県のむし歯予防推進校になり、歯みがき用具保管庫など施設も整い、食後、全校一斉に歯みがきをしています。

七夕祭、図書館祭、海辺で遊ぼう、たこ上げ大会、ロードレース、

### 社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

(敬称略)

- 新町ワサ(牟田) 瀬戸口キミ
- (上野) 中原等(尾原) 岩崎平
- (伊) 倉津ハナエ(倉津) 浜崎百枝(黒之浜) 築地イシ(新町)
- 倉津長次郎(倉津) 寺地美春(尻無下) 福田ノブ(佐瀬) 石原フミ
- (大瀧) 溝上正義(牧内) 東トメ(田代下) 寺下スズ子(柳之西)

#### 国の「進学ローン」の案内

国民金融公庫では、今春高等学校、専修学校、大学などに進学されるための資金を必要とされる父兄、または、進学される方のために「進学ローン」の融資制度があります。

- 融資金額 一世帯五十万円
- 融資期間 高校三年 短大二年、大学四年
- 利率 年八・三%

詳しくは銀行、農協、漁協へ相談ください。

○ 瀬之浦上新春部落一周駅伝(二月二日実施)

- ①六班 ②一班 ③三班 ④一班
- ⑤四班 ⑥六班婦人会

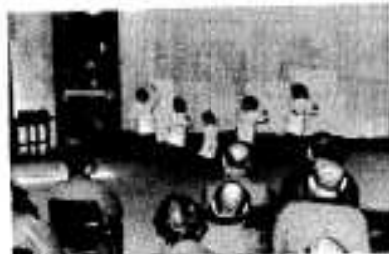


三二話題

### 踊りでお年寄りを慰問

#### 阿久根幼稚園の園児

「いっしょうけんめいおどりますので、みてくださいね」と一月



かわいい園児の踊り

二十一日阿久根幼稚園のかわいい園児六十人が聖園老人ホームを訪ね「白虎隊」「ちいさなサムライ」など九つの踊りを披露、お年寄りを喜ばせ心の触れ合いをしました。

### 安心して出稼を

#### 大川で出稼者の激励会

出稼者が健康で、安全に働けるよう、また、留守家庭も安心して



市民のひろば

### スナッフ



仲良しだよね!

馬見塚 恵ちゃん 1才4カ月(本町) 右  
上村まどかちゃん 1才4カ月(上野) 左

### ホースを肩に 消防駅伝

#### 大川分団出初式で披露

ハッピー姿に長靴、ホースと消火筒先を肩に、筒先がバトンがわりという珍らしい駅伝が一月二日大川で行われました。

大川分団(川畑武利分団長)が分団の出初め式に「団員の士気を高めるため」行ったもので、コースは地区公民館から大川小前を通る一周一・五km、分団を五チームに分けて午前十時スタートしました。

団員らは肩に重い水筒を担いで、平均四百メートルを走りリレーしていき、ゴールの大川川で一斉に放水して地区民の拍手を受けました。



完全装備の駅伝大会

### 「祝いもんそかい」

倉津部落で 伝統行事「麦ほめ」



古くから倉津部落に伝わる伝統行事「麦ほめ」が今年も一月十四日の夜行われ、子供たちが家々を回って祝う「ここん妻はよか妻、

一舟まきや八石……」の元気な声が部落内を駆けめぐり、豊作と大漁を祈っていました。

### 寒風ついて泳ぎ初め



元気に水しぶきをあげる会員たち

水泳協会の泳ぎ初めが一月一日浜海岸で行われ、寒さをものともせず初泳ぎに水しぶきをあげていました。  
泳ぎ初めには会員二十五人が参加、このなかには九歳の森園恵智子ちゃんら小学生の女子四人も参加しました。  
当日は、北風が強く気温も九度、水温は肌をさす冷たさ、会員らは入念に準備運動したあと、元気に海に入り今年の無事を祈願していました。



暮らせるようにと一月七日大川地区公民館で出稼者の安全就労推進大会が開かれ、地区内から五十人が参加しました。

会では、川辺収入役、松崎徳男農業委員会々長が「ケガのないよう健康に気を付け、元気で働いてください」と激励しました。

市内での出稼者は百人程で、このうちの九〇％が大川地区が占めています。

最近、就労先で労働災害による死亡事故が増加しており、出稼者が安心して健康で働けるよう毎年開いているものです。



●尾崎校区PTA親子駅伝大会

(一月十七日実施)

- ①尾崎西 ②弓木野下 ③大平茶
- 円ヶ段 ④有田 ⑤尾崎 ⑥弓木野上

## 成人式 586人が大人へ めだつ晴れ着姿



晴れ着姿の多い成人式

成人の日より一足早い一月五日、市民会館で市の成人式が行われました。

今年の成人式には五百八十六人の該当者から男性百九十九人女性二百二十五人が出席しました。

式では川畑市長が「二十歳の仲間入りした皆さんには大きな期待があります。この成人式を機会に心を広げ、勇気を持って悔いのない人生を歩んでください」と激励、これに答へ、新成人を代表して吉

田昭弘君が「世界を見つめ、自分を見つめ、しっかりとした人生に向かって進みたい」と感想を述べました。

このあとは講演や記念撮影があり二十歳になった若者を祝福していました。

今年の成人式も三つぞろいを着込んだ若者や晴れ着姿の女性など相変らず晴れ着姿の多い成人式となりました。

永田上区が連続優勝

折多校区駅伝大会

第九回折多校区駅伝大会は一月三日行われ、校区内十部落から十二チームが参加して十区間十一

二つに健脚を競い水田上Aが二年連続優勝しました。

成績は次のとおりです。

- 一位永田A 二位幸田 三位簡田 四位内田



### 大 婆 女

今からおよそ四百三十年前の天文十七年の夏のことです。

当時、出水方と東郷方は激しく争っていて、いきさが絶えませんでした。

昨天文十六年に出水方の田代東方に攻め込んで敗戦に終わった無念を晴らそうと、東郷城主東郷重治の一家臣の奥間で密かに数名が集まり密議がなされていました。

ところが、この家の夫人は田代から嫁入りしていましたが、密議の内容が田代攻め入りの話と知って驚きました。夫を思う心と田代の実家の親兄弟を思う心との板ばさみに苦しんだあげく、決心して実家に知らせることになりました。

一方出水方では、東郷勢の企てを知ると野田城主島津忠兼を大将に立て、東郷勢を迎え撃つ

準備を整えました。

果たして五月二十八日の早朝出水方が中の峯を中心に包圍した網の中に入ってきた東郷勢は出水方の一斉攻撃に遭って散々に負けてしまい、七十余名の戦死者を残して敗走してしまいました。

夫人は自分の手で愛しい夫を戦死させた罪滅ぼしに東郷方戦死者を供養するため実家の田代に帰り、ささやかな庵を建てて朝夕念仏を唱えました。

そうして毎日のように中の峯(首塚)に登り花や水を、時には夫の好物であった焼酎を供え懇ろにその霊を慰めました。

敵方の撃守りとは言え、この夫人の立派な行ないはやがて村人にほめ称えられ「大婆女」と呼ばれるようになりました。

この大婆女とは、立派な行ないの婆さんの意味です。



下田代 入口の小高い丘が大婆女の住家跡といわれ、石碑が残っています。



行事催し物など  
どしどしお寄せください。

### 市営住宅入居者を募集

2月27日まで受付

市では、昭和五十六年度公営住宅建設事業で建設中の春畑、黒之浜住宅および市内の市営住宅でこれから空屋になる住宅について、入居を希望される方を募集しています。

#### ○申込期間

二月一日から二月二十七日まで

#### ○申込方法および場所

市役所都市計画課建築係に備えつけの申込書に記入のうえ関係へ提出してください。

詳しいことについては都市計画課建築係に問い合わせてください。

①1211内142へ

五十一年度  
市奨学生募集

資格 本市に在住する人の子弟

で、本年高等学校、高等専門学校、大学を受験しようとする者、およびこれらの学校に在学中の者で、品行方正、学術（または技能）優秀、身体強健で学資の支払が困難と認められる者

▽採用人員予定者  
大学 六人 高等専門学校 一人  
高等学校 四人

▽奨学金の貸与額  
○大学 一万二千元  
○高等専門学校 六千元  
○高等学校 四千元

○募集期間 二十七日まで

▽提出書類など詳しいことについては教育委員会庶務課におたずねください。

## 116万円の心温まる善意——歳末たすけあい運動募金——

「みんなそろって明るいお正月を」のスローガンをかけて実施しました、昭和五十六年度歳末たすけあい運動は、市民みなさんのご理解と、区長さん、民生委員さんのご協力により別表のように多額の寄付金が寄せられました。

お寄せいただいた寄付金は、一人暮らしのお年寄りや、寝たきりの方、市内で十六人いる遺児など四百四十五人の方々にお金やセーターなど贈り喜ばれました。

みなさんの心温まる善意に感謝申し上げます。

### 昭和56年歳末たすけあい運動結果

#### 収入（募金）

一般募金	443,360 円	区長協力
特志募金	718,425	民生委員・特志者
前年度繰越金	128,159	
合計	1,289,944	

#### 支出（配分）

独居老人	254,000 円	127人
高齢者	352,000	176人
遺児	478,500	87人
遺児	63,255	16人
父子世帯	82,500	29人
在宅重症児	15,000	3人
療友会	14,000	7人
事務費	13,876	
合計	1,273,131	

### 計量器の検査を

三月三日から十日まで

計量器を取引上、または証明上を使用する場合は県が行なう検査を受け、これに合格したものを使用することになっています。計量器をお持ちの方は必ず検査を受けてください。

### 図書館だより



#### 新しい本の情報

- ▽岡田重雄著「新幹線車掌日記」
- ▽曾野綾子著「人びとの中の私」
- ▽蛸川真夫著「田中角栄は死なす」
- ▽城山三郎著「価格破壊（ブライス・タウン）」
- ▽船橋明子著「わたしは鳥になって」
- ▽古田重紀著「機張の狐島」
- ▽宮沢明子著「ピアニストの休日」
- ▽渡辺淳一著「麗しき白牡丹」
- ▽武田章著「学徒兵ら」

### 住宅金融公庫の受付開始

「融資額アップ、金利優遇」

マイホーム建設資金と住宅購入資金の借入申込み受付は、一月二十八日から三月一日まで受付日曜に無抽選、選考の方法で実施されています。

融資限度額は、建設が四百八十万（木造）、住宅購入の場合は五百六十万円（土地資金を含む）金利は年五・五％、償還年限は二十五年以内（木造）

詳しいことについては、市の建築係、または市内の公庫取扱金融機関へ。

### 南国に競え若人はぐくめ友情

本市は今年の高校総体のボクシング会場です